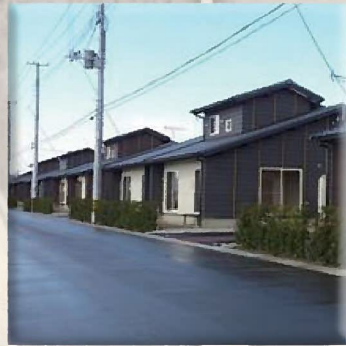


# 東日本大震災 4年目の記録

みやぎの住宅・社会資本再生・復興の歩み

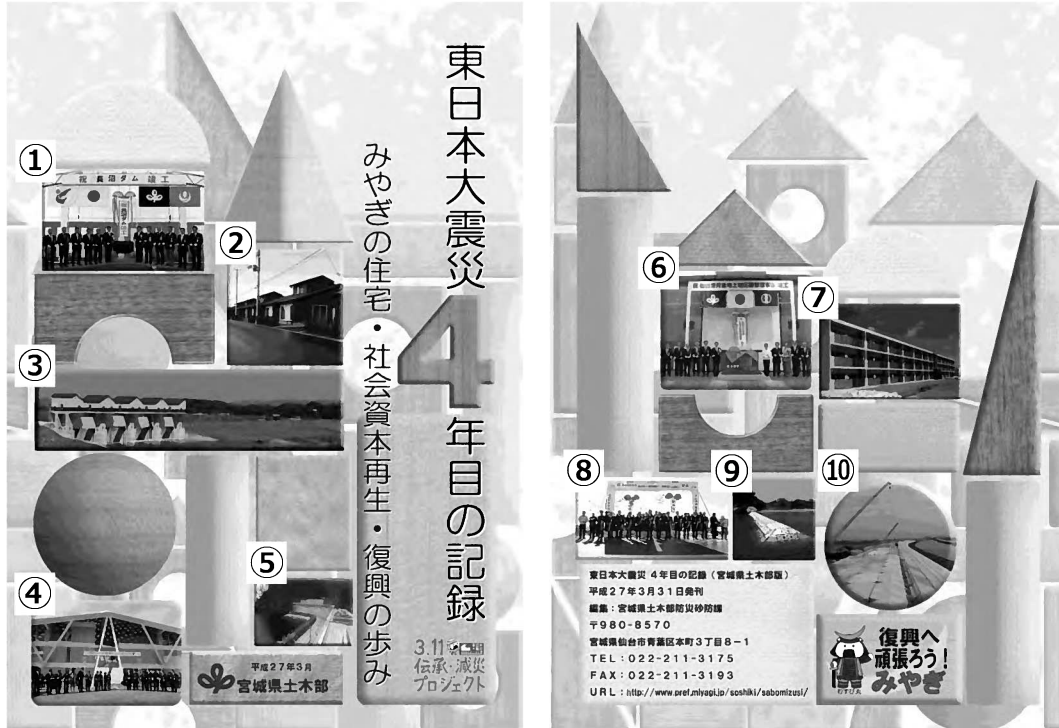
3.11 東日本大震災  
伝承・減災  
プロジェクト



平成27年3月

宮城県土木部

— 表紙・裏表紙写真 —



①	長沼ダム 竣工式
②	岩沼市玉浦西地区 災害公営住宅
③	長沼ダム
④	おながわ復興まちびらき 2015 春 記念式典
⑤	館浜地区海岸災害復旧工事 施工状況
⑥	仙台港背後地土地区画整理事業 竣工式
⑦	亘理町下茨田地区 災害公営住宅
⑧	常磐自動車道 開通式典
⑨	仙台塩釜港(塩釜港区)桂島前浜突堤
⑩	中貞山運河災害復旧工事 施工状況

## 「東日本大震災 4年目の記録」発刊に寄せて

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から4年が経過しました。職員の昼夜を問わずの復旧・復興への取り組みと、国や都道府県などの自治体、関係機関・団体など、国内外からの多くの温かいご支援により、本県の復旧・復興が進行していることに、深く感謝申し上げます。

さて、今年度は「宮城県震災復興計画」における「再生期（4年）」の1年目にあたり、土木部では「復興実感年」をテーマとして、事業推進・整備に取り組んできました。その結果、災害公営住宅の完成、常磐自動車道の全線開通、長沼ダムや仙台港背後地土地区画整理事業の竣工、災害復旧事業や災害公営住宅整備の着実な推進など職員のみならず県民の皆様にも復興を実感していただける1年間となったと感じております。

しかしながら、沿岸部における災害復旧事業は、金額ベースでの着手率が約8割、完成率が約2割に留まっていることを踏まえると、平成27年度の再生期2年目は市町が進める復興まちづくりと並行して、早期の復旧・復興に全力で取り組み、被災者をはじめ県民の皆様が復旧・復興の加速を実感できるものとしなければならないものと考えております。

月日の経過とともに被害や取り組みの記憶は薄れてまいります。震災を風化させないよう宮城県土木部では、今後発生する災害に備えて震災の経験を後世に伝える活動「3.11 伝承・減災プロジェクト」を進めております。

この度、プロジェクトの1つである“記憶”より“記録”で「ながく」伝承の取り組みとして、平成26年度における土木部1年間の活動をまとめた「東日本大震災 4年目の記録」を編集いたしました。今後も復旧・復興の取組みを記録し、国内外に発信していきたいと考えております。この記録誌が、本県のみならず、他の自治体等、関係機関・団体における今後の防災・伝承・減災に少しでもお役に立てればこの上なく幸いです。

これからも、職員一丸となって全力で東日本大震災からの復旧・復興へ取り組んでまいります。今後とも国内外からの引き続きのご支援をよろしく願いいたします。

平成27年3月

宮城県土木部長 遠藤 信哉



## 目 次

### 第1章 復旧・復興トピックス……………P 1

1. 国・宮城県・土木部の四年目の歩み……………	2
2. 平成26年度復旧・復興カレンダー……………	14
土木総務課……………	15
事業管理課……………	16
用地課……………	17
道路課……………	18
河川課……………	19
防災砂防課……………	20
港湾課……………	21
空港臨空地域課……………	22
都市計画課……………	23
復興まちづくり推進室……………	24
下水道課……………	25
建築宅地課……………	26
住宅課……………	27
復興住宅整備室……………	28
営繕課……………	29
設備課……………	30
大河原土木事務所……………	31
仙台土木事務所……………	32
北部土木事務所……………	33
北部土木事務所栗原地域事務所……………	34
東部土木事務所登米地域事務所……………	35
東部土木事務所……………	36
気仙沼土木事務所……………	37
仙台塩釜港湾事務所……………	39
石巻港湾事務所……………	40
中南部下水道事務所……………	41
東部下水道事務所……………	42

仙台地方ダム総合事務所 .....	4 3
大崎地方ダム総合事務所 .....	4 4
栗原地方ダム総合事務所 .....	4 5
仙台港背後地土地区画整理事務所 .....	4 6

## 第2章 災害復旧事業..... P 4 7

第2章 災害復旧事業の概要（内容）について .....	4 8
現状と課題・進捗状況.....	4 9
用地課.....	5 0
道路課.....	5 1
河川課.....	5 3
防災砂防課.....	5 5
港湾課.....	5 8
都市計画課.....	6 0

## 第3章 復興への取り組み..... P 6 3

第3章 復興への取り組みの概要（内容）について .....	6 4
土木総務課.....	6 5
事業管理課.....	6 8
道路課.....	7 1
河川課.....	7 3
防災砂防課.....	7 5
港湾課.....	7 6
空港臨空地域課.....	7 9
都市計画課.....	8 1
復興まちづくり推進室.....	8 3
下水道課 .....	8 4
建築宅地課.....	8 6
住宅課.....	8 9
復興住宅整備室.....	9 1
営繕課.....	9 3
設備課.....	9 6

## 第4章 復旧・復興 4年目の現状と課題……………P 97

第4章 復旧・復興 4年目の現状と課題の概要（内容）について..	98
土木部の組織体制 .....	98
土木総務課.....	99
事業管理課.....	106
用地課.....	112
道路課.....	114
河川課.....	127
防災砂防課.....	139
港湾課.....	146
空港臨空地域課.....	159
都市計画課.....	164
復興まちづくり推進室 .....	178
下水道課 .....	179
建築宅地課.....	185
住宅課.....	193
復興住宅整備室.....	197
営繕課.....	203
設備課.....	213
大河原土木事務所 .....	215
仙台土木事務所.....	229
北部土木事務所.....	248
北部土木事務所栗原地域事務所.....	261
東部土木事務所登米地域事務所.....	273
東部土木事務所.....	284
気仙沼土木事務所 .....	303
仙台塩釜港湾事務所.....	319
石巻港湾事務所.....	325
中南部下水道事務所.....	330
東部下水道事務所 .....	334
仙台地方ダム総合事務所 .....	341
大崎地方ダム総合事務所 .....	345
栗原地方ダム総合事務所 .....	352
仙台港背後地土地区画整理事務所 .....	355

## 第5章 住宅・社会資本の再生・復興状況……………P 359

1. 災害公営住宅 .....	360
2. 道路施設 .....	361
3. 河川・ダム・海岸保全施設 .....	381
4. 砂防・地すべり・急傾斜地施設 .....	391
5. 港湾施設 .....	393
6. その他施設 .....	400

## 巻末資料 東日本大震災の被害状況……………P 405

1. 人的被害 .....	406
2. 住家・非住家被害 .....	406
3. 避難所・避難者数 .....	406
4. ライフライン被害 .....	406
5. 各施設の被害額 .....	406
6. 公共土木施設等の被害額 .....	406



## 各章の概要（内容）

### 第1章 復旧・復興トピックス

平成26年度における国、県、土木部の主な出来事及び各課（室）・地方事務所の出来事について時系列で記載している。

### 第2章 災害復旧事業

災害復旧事業の「現状と課題」及び「進捗状況」について、土木部全体としてまとめると共に、平成26年度が震災からの復旧・復興においてどのような年であったのか、関係課毎にこの一年で解決されたことや課題として顕在化したこと等について記載している。

※用地課については、第3章の内容と合わせて記載している。

### 第3章 復興への取り組み

復興への取り組みの「現状と課題」及び「進捗状況」について、平成26年度が震災からの復旧・復興においてどのような年であったのか、課（室）毎に、この一年で解決されたことや課題として顕在化したこと等について記載している。

※用地課については、第2章で記載している。

### 第4章 復旧・復興 4年目の現状と課題

平成26年度がどのような年であったのか、土木部すべての班毎に、この一年で解決されたことや課題として顕在化したこと等について記載している。

### 第5章 住宅・社会資本の再生・復興状況

平成26年度における住宅・社会資本の再生・復興状況について写真でまとめている。

### 巻末資料 東日本大震災の被害状況

東日本大震災の発生から4年となる平成27年3月現在の人的被害、住家・非住家被害等について記載している。

